



## *Fiery Options のヘルプ(server)*

© 2024 Fiery, LLC. The information in this publication is covered under Legal Notices for this product.

10 September 2024

# Contents

サーバーで使用する Fiery オプションのライセンス管理 .....	5
ライセンスを管理する .....	5
プロキシサーバーの設定 .....	5
Fiery オプション管理ページへのアクセス .....	6
ライセンス通知 .....	6
Fiery オプションのアクティベーション .....	6
Fiery オプションを自動でアクティベートする .....	7
ライセンスアクティベーションコード (LAC) の連続アクティベート .....	7
一時ライセンスを自動アクティベートする .....	8
Fiery オプションを手動でアクティベートする .....	9
アクティベート済み Fiery オプションの復元 .....	10
Fiery オプションを自動で復元する .....	10
Fiery オプションを手動で復元する .....	11
ライセンスアクティベーションコードのバックアップ .....	11
Fiery オプションのトラブルシューティング .....	11
アクティベートするとエラーメッセージが表示される .....	12
無効なシステムクロック設定 .....	12
エラーメッセージ .....	12



# サーバーで使用する Fiery オプションのライセンス管理

Fiery Automation Package、Fiery ColorRight Package、Fiery Graphic Arts Pro Package、Fiery Hot Folders/仮想プリンターなどの Fiery サーバーで、Fiery サーバーベースのオプションのライセンスを管理できます。

Fiery Compose、Fiery Impose、Fiery JobMaster、Fiery JobFlow、Adobe Acrobat キットなど、Fiery クライアントベースのオプションのライセンス管理については、[クライアントコンピューターの Fiery オプションのライセンス管理](#)を参照してください。

Fiery サーバーにインストールされている Fiery オプションを使用するには、まず一意のライセンスアクティベーションコード (LAC) を取得し、ライセンスをアクティベートする必要があります。

## ライセンスの取得

Fiery オプションのライセンスは、Fiery 販売店、プリンター製造元または [Fiery ショップ](#) から入手できます。ライセンスを取得すると、次のタスクを実行できます。

- [Fiery オプションのアクティベーション](#) (7 ページ)
- [アクティベート済み Fiery オプションの復元](#) (10 ページ)
- [ライセンスアクティベーションコードのバックアップ](#) (11 ページ)

Fiery オプションページで Fiery オプションのアクティベートと復元ができます。詳細は、[Fiery オプション管理ページへのアクセス](#) (6 ページ) を参照してください。

## ライセンスを管理する

ライセンス管理には Fiery オプションのアクティベーションおよび復元が含まれます。Fiery ライセンスサーバーは、これらのライセンスアクティベーションコード (LAC) 関連タスクを管理します。

ライセンスの管理は、お使いの Fiery server がインターネットに接続されているかどうかによって手順が異なります。

- Fiery サーバーがインターネットに接続されている場合は、情報は Fiery サーバーと Fiery ライセンスサーバーの間で自動的に転送されます。
- Fiery サーバーがインターネットに接続されていない場合は、Fiery サーバーと Fiery ライセンスサーバーの間で情報を手動で転送する必要があります。

組織がプロキシサーバー経由でインターネットに接続している場合は、プロキシサーバーの設定を指定する必要があります。

## プロキシサーバーの設定

お使いのコンピューターでライセンスサーバーに接続しようとした時にインターネットにアクセスできない場合は、所属組織がプロキシサーバーを使用してインターネットに接続している可能性があります。この場合はプロキシサーバーを設定してからライセンス処理を行います。

- 1 コンピューターがインターネットにアクセスできないというメッセージが表示されたら、**ネットワーク設定の構成**をクリックします。
- 2 必要な値を入力し、**適用**をクリックします。

## Fiery オプション管理ページへのアクセス

Fiery オプションの管理ページには、アクティベートされている Fiery オプションと、アクティベートできるオプションが表示されます。Fiery オプションの管理ページには、次のいずれかの方法でアクセスできます。

- **Command WorkStation** : デバイスセンターで、**一般 > 一般情報**をクリックし、**管理**をクリックします。
- **WebTools** : **ホーム**タブで、**管理**をクリックします。
- **Fiery オプションパッケージのライセンス通知** : **ライセンスのアクティベート**リンクをクリックします。詳細は、**ライセンス通知** (6 ページ) を参照してください。

Fiery オプション管理ページがデフォルトの Web ブラウザーで開きます。

## ライセンス通知

インストールされている Fiery オプションのライセンスが有効期限に近づいたり、期限切れになったりした場合に通知が表示されます。有効期限が近いライセンスの通知は、ライセンスの有効期限の 90 日前、60 日前、30 日前、15 日前、10 日前に表示されます。有効期限までの 10 日間と有効期限が切れた後は、通知が毎日表示されます。通知は次の場所に表示されます。

- **Command WorkStation** ジョブセンターの右上角
- **Command WorkStation** のホームタブに一覧表示されている Fiery サーバー上

**メモ** : ライセンス通知は、Fiery システムソフトウェア FS400/400 Pro 以降が搭載された Fiery サーバーにインストールされている Fiery オプションでのみ使用できます。

通知には、次のリンクが表示されます。

- **ライセンスのアクティベート** : Fiery オプション管理ページを開き、ライセンスアクティベーションコード (LAC) をアクティベートします。ライセンスのアクティベートは、ライセンス有効期限までの 90 日間表示されます。
- **詳細情報** : Fiery オプションのライセンス管理ヘルプを開きます。
- 詳細アイコン (縦の 3 つのドット) は、選択した通知を次の有効期間まで非表示にします。しかし、有効期限までの最後の 10 日間と有効期限が切れた後は、通知が毎日表示されます。

**メモ** : Fiery オプションのライセンス有効期限は、**Command WorkStation** デバイスセンター、**WebTools** のホームタブ、Fiery オプション管理ページに表示されます。ライセンスアクティベーションページの

## Fiery オプションのアクティベーション

Fiery オプションをアクティベートするときは、以下の情報を記録します。

- Fiery サーバーの ID。ID は設定情報ページの BIOS 設定の下に記載されています。Command WorkStation の場合、ID はデバイスセンターの一般タブのサーバー設定に記載されています。RIP をクリックすると、右側の BIOS 設定の下にも ID が記載されています。
- オプション名
- ライセンスアクティベーションコード (LAC)  
LAC をバックアップするには、[ライセンスアクティベーションコードのバックアップ](#) (11 ページ) を参照してください。

オプションをアクティベートしている Fiery サーバーがインターネットに接続されているかどうかに応じて、オプションを自動または手動でアクティベートできます。詳細は [ライセンスの管理](#) (5 ページ) を参照してください。

## Fiery オプションを自動でアクティベートする

コンピューターがインターネットに接続されている場合は、Fiery オプションを自動的にアクティベートできます。

- 1 Fiery オプション管理ページを開きます ([Fiery オプション管理ページへのアクセス](#) (6 ページ) を参照)。
- 2 使用許諾契約の条件に同意する場合は、**アクティベート**、**続ける**をクリックします。
- 3 **ライセンスアクティベーションコード**フィールドにライセンスアクティベーションコードを入力し、**続行**をクリックします。
- 4 **アクティベート**をクリックします。
- 5 アクティベーション後に再起動する必要がある場合は、**再起動**をクリックしてすぐに再起動します。再起動する前に他のオプションもアクティベートする場合は、**終了**をクリックします。アクティベーション後に再起動する必要がない場合は、**終了**をクリックします。

## ライセンスアクティベーションコード (LAC) の連続アクティベート

ライセンスの有効期間が 90 日以下の Fiery オプションでは、現在のライセンスを使用しながら、新しい (連続) 期間ライセンスをアクティベートできます。現在のライセンスは有効期限が切れるまで有効で、その後は連続する期間ライセンスがシームレスに開始されます。これにより、現在のライセンスの有効期限と連続する期間ライセンスの開始との間にギャップが生じないようにします。

現在の期間ライセンスをアクティベートしたのと同じ方法で、連続期間ライセンスをアクティベートできます。詳細情報については、[Fiery オプションを自動でアクティベートする](#) (7 ページ) を参照してください。

## 追加情報

- 連続期間ライセンスは Fiery システムソフトウェア FS400/400 Pro 以降を搭載する Fiery サーバーにインストールされている Fiery オプションでのみアクティベートできます。
- 連続期間ライセンスをアクティベートするには、Fiery サーバーがインターネットに接続されている必要があります。
- ライセンスの有効期限の通知は、期限の 90 日前、60 日前、30 日前、15 日前、10 日前および 10 日前からは毎日表示されます。期限 90 日前通知が表示された後は、いつでも連続期間ライセンスをアクティベートできます。
- 連続期間ライセンスをアクティベートした後でも、現在のライセンスを全期間利用できます。連続期間のライセンスの有効期間は、現在の期間ライセンスの満了後から開始されます。
- 現在、トライアルライセンスが有効になっている場合も、連続期間ライセンスを同時に有効にすることができます。連続期間ライセンスの有効期間は、トライアルライセンスの有効期限が切れた後から開始されます。
- 現在のライセンスの有効期限が切れる前に、連続した期間ライセンスがアクティベートされていない場合、Fiery オプションは有効期限の後に使用できなくなり、新しいライセンスを取得する必要があります。

## 一時ライセンスを自動アクティベートする

Fiery オプションを初めてインストールする際、Fiery ライセンスサーバーが利用できない場合は、一時ライセンスを使用して Fiery オプションのアクティベートを続行できます。Fiery オプション管理ページで一時ライセンスをアクティベートできます。

- 1 Fiery オプション管理ページには、次のいずれかの方法でアクセスします。
  - Command WorkStation デバイスセンターで、**一般 > 一般情報**をクリックし、**管理**をクリックします。
  - WebTools の**ホーム**タブで、**管理**をクリックします。

Fiery オプション管理ページでライセンスアクティベーションコードをアクティベートできない場合は、ライセンスサーバーは使用できないが一時ライセンスはアクティベートできるというメッセージが表示されます。

- 2 **一時ライセンスをアクティベート** ボタンをクリックします。
- 3 **再起動** をクリックします。

一時ライセンスの有効期限は、Command WorkStation デバイスセンター、WebTools のホームタブ、Fiery オプション管理ページに表示されます。

## 追加情報

- 一時ライセンスオプションは、Fiery システムソフトウェア FS400/400 Pro 以降が搭載された Fiery サーバーにインストールされている Fiery オプションでのみ使用できます。
- 一時ライセンスをアクティベートするには、Fiery サーバーがインターネットに接続されている必要があります。

- 以下の場合にのみ一時ライセンスをアクティベートできます。
  - Fiery ライセンスサーバーを使用できない場合
  - Fiery オプションを初めてインストールしている間
- Fiery システムソフトウェアを再インストールする場合は、一時ライセンスをアクティベートできません。
- 一時ライセンスは 35 日間のみ有効です。この期間中にライセンスアクティベーションコード (LAC) をアクティベートしてください。

## Fiery オプションを手動でアクティベートする

コンピューターがインターネットに接続されていない場合、ライセンスをアクティベートするにはコンピューターと Fiery ライセンス Web サイトの間のデータ転送を手動で行う必要があります。

ライセンスを初めて手動でアクティベートすると、Fiery サーバーはアクティベーションを、以前にアクティベートしたライセンスの復元要求と解釈します。ライセンスを復元するプロセスを実行した後、ライセンスのアクティベーションプロセスを繰り返していただきますが、手順には若干の違いがあります。次の手順の 2 つのセクションを参照してください。

### ライセンスを復元するための要求ファイルを作成する

- 1 Fiery オプション管理ページを開きます ([Fiery オプション管理ページへのアクセス](#) (6 ページ) を参照)。
- 2 **アクティベート**をクリックします。
- 3 **ライセンスアクティベーションコード**フィールドにライセンスアクティベーションコード (LAC) を入力し、**アクティベート**をクリックします。
- 4 **続行**をクリックして、手動処理を進めます。
- 5 **要求ファイルの作成**をクリックしてファイルを保存します。  
保存されたファイルの名前は request-Restore-xxxxxxx.dat のようになります。
- 6 インターネットに接続されたコンピューターに要求ファイルをコピーします。
- 7 ブラウザーを開き、<https://licensing.fiery.com/>にアクセスします。
- 8 **ファイルの選択**をクリックし、要求ファイルを選択して、**要求ファイルのアップロード**をクリックします。
- 9 **ライセンスファイルダウンロード**をクリックしてライセンスファイルを保存します。  
保存されたファイルの名前は License-xxxxxxx.dat のようになります。
- 10 最初にライセンスアクティベーションコードを入力したコンピューターにライセンスファイルをコピーします。
- 11 **ライセンス生成**ウィンドウに戻り、**はい**をクリックします。
- 12 **ファイルを選択**をクリックし、ライセンスファイルを選択して開き、**復元**をクリックします。
- 13 **完了**をクリックします。

### ライセンスをアクティベートするための要求ファイルを作成する

- 14 Fiery オプション管理ページを開きます

- 15 アクティベートをクリックします。
- 16 ライセンスアクティベーションコードフィールドに LAC を入力し、アクティベートをクリックします。
- 17 続行をクリックして、手動処理を進めます。
- 18 要求ファイルの作成をクリックしてファイルを保存します。  
保存されたファイルの名前は request-Activation-xxxxx-xxxxx-xxxxx-xxxxx.dat のようになります。
- 19 インターネットに接続されたコンピューターに要求ファイルをコピーします。
- 20 ブラウザーを開き、<https://licensing.fiery.com/>にアクセスします。
- 21 ファイルの選択をクリックし、要求ファイルを選択して、要求ファイルのアップロードをクリックします。
- 22 続行をクリックしてライセンスファイルを保存します。  
保存されたファイルの名前は License-xxxxx-xxxxx-xxxxx-xxxxx.dat のようになります。
- 23 最初にライセンスアクティベーションコードを入力したコンピューターにライセンスファイルをコピーします。
- 24 ライセンス生成ウィンドウに戻り、はいをクリックします。
- 25 ファイルを選択をクリックし、ライセンスファイルを選択して開き、アクティベートをクリックします。
- 26 アクティベーション後に再起動する必要がある場合は、再起動をクリックしてすぐに再起動します。再起動する前に他のオプションもアクティベートする場合は、終了をクリックします。アクティベーション後に再起動する必要がない場合は、終了をクリックします。

## アクティベート済み Fiery オプションの復元

すでにアクティベート済みのオプションが使用できず、コンピューターからライセンスサーバーにアクセスしても復元できない場合は、Fiery オプション管理ページを使用してオプションを復元できます。

**メモ：**Fiery オプションは、Fiery System ソフトウェア FS400/FS400 Pro 以降の Fiery サーバーでのみ復元できます。

コンピューターがインターネットに接続されているかどうかに応じて、オプションを自動または手動で復元できます。詳細は [ライセンスの管理](#) (5 ページ) を参照してください。

## Fiery オプションを自動で復元する

コンピューターがインターネットに接続されている場合は、以前アクティベートされた Fiery オプションを自動的に復元できます。

- 1 Fiery オプション管理ページを開きます ([Fiery オプション管理ページへのアクセス](#) (6 ページ) を参照)。
- 2 右上角の **詳細設定** アイコン () をクリックし、**復元**をクリックします。  
Fiery オプションが復元されます。
- 3 **完了**をクリックします。

## Fiery オプションを手動で復元する

コンピューターがインターネットに接続されていない場合、コンピューターと Fiery ライセンス Web サイトの間のデータ転送を手動で行う必要があります。要求ファイルを生成し、Fiery ライセンス Web サイトに送信してライセンスファイルを取得し、このライセンスファイルを使用してオプションを復元します。

- 1 Fiery オプション管理ページを開きます ([Fiery オプション管理ページへのアクセス \(6 ページ\)](#) を参照)。
- 2 右上角の **詳細設定** アイコン (⚙️) をクリックし、**復元** をクリックします。
- 3 **続行** をクリックして、手動処理を進めます。
- 4 **要求ファイルの作成** をクリックしてファイルを保存します。
- 5 インターネットに接続されたコンピューターに要求ファイルをコピーします。
- 6 ブラウザーを開き、[licensing.fiery.com](https://licensing.fiery.com) にアクセスします。
- 7 **ファイルの選択** をクリックし、要求ファイルを選択して、**要求ファイルのアップロード** をクリックします。  
ライセンスファイルが生成されます。
- 8 **ライセンスファイルダウンロード** をクリックしてファイルを保存します。
- 9 オプションを復元するコンピューターにライセンスファイルをコピーします。
- 10 **ライセンス生成** ウィンドウに戻り、**はい** をクリックします。
- 11 **参照** をクリックし、ライセンスファイルを選択して開き、**復元** をクリックします。

## ライセンスアクティベーションコードのバックアップ

ライセンスアクティベーションコードを Fiery IQ クラウドにバックアップできます。

**メモ:** ライセンスアクティベーションコードのバックアップ機能は、Fiery Command WorkStation 7.1 以降でのみ使用できます。

- 1 クラウドアイコンをクリックして、**Fiery IQ クラウドサービスマネージャー** ウィンドウを開きます。
- 2 **バックアップライセンスアクティベーションコード** で、切り替え ボタンをクリックしてバックアップを開始します。  
ライセンスアクティベーションコードが Fiery IQ クラウドにバックアップされます。
- 3 **コードを表示** をクリックして、ライセンスアクティベーションコードを表示します。

## Fiery オプションのトラブルシューティング

Fiery オプションの管理中に発生した問題をトラブルシューティングできます。

## アクティベートするとエラーメッセージが表示される

エラーの詳細情報と対処策を示すエラーメッセージが表示されます。

- 1 エラーについての詳細は、[エラーメッセージ](#) (12 ページ) を参照してください。テクニカルサポートに連絡するように指示するメッセージが表示された場合は、まず診断ログファイルを生成する必要があります。
- 2 診断ログファイルを生成するには、Fiery オプション管理ページを開きます ([Fiery オプション管理ページへのアクセス](#) (6 ページ) を参照)。
- 3 右上角の **詳細設定** アイコン (⚙️) をクリックし、**診断ログ** をクリックして診断ログファイルを生成します。
- 4 テクニカルサポートに連絡する場合は、次の情報を送付する必要があります。
  - Fiery サーバーの ID。詳細は、[Fiery オプションのアクティベーション](#) (7 ページ) を参照してください。
  - アクティベートしようとしているオプションの名前
  - ライセンスアクティベーションコード (LAC)
  - 診断ログ

## 無効なシステムクロック設定

システムクロックの日付と時刻の設定が正しくない場合、コンピュータを Fiery ライセンスサーバーに接続できないことがあります。この場合は、コンピュータの時計をリセットしてください。

## エラーメッセージ

エラーメッセージにはエラーの詳細情報と対処策が表示されます。エラーメッセージは、ライセンスアクティベーションソフトウェアと Fiery ライセンス Web サイトに表示されます。

より詳細な情報やサポートが必要な場合には、登録ユーザーは [Fiery Communities](#) でディスカッションを始められます。

メッセージ ID	エラーメッセージ	アクション
ライセンスアクティベーションソフトウェアから		
OFA0020	LAC の形式が不正です。LAC を再入力してください。LAC カードがある場合、それを参照してください。	ライセンスアクティベーションコード (LAC) の形式が不正です。LAC を再入力してください。LAC カードがある場合、それを参照してください。

メッセージ ID	エラーメッセージ	アクション
OFA0010	選択したライセンスファイルは無効です。別のファイルを選択して再実行してください。	手動アクティベーション中に、Fiery ライセンス Web サイトからライセンスファイルが取得されました。アップロードするライセンスファイルが正しく選択されていることを確認してください。  まだエラーが発生する場合は、Fiery オプションを復元して再度アクティベートしてください。
OFA0090	内部エラー。Fiery テクニカルサポートに電話してください。	ライセンスファイルに問題があります。アクティベーション処理を最初からやり直してください。まだエラーが発生する場合は、オプションを復元して再度アクティベートしてください。まだエラーが発生する場合は、テクニカルサポートに連絡して、メッセージに表示されたエラーコードを伝えてください。
OFA0060	エラー<エラー番号> プロキシ設定が不正か、あるいはプロキシサーバーがダウンしています。	インターネット接続が見つかりません。プロキシ設定が正しいことを確認して再実行します。それでも解決しない場合は、ネットワーク管理者に連絡してください。
OFA0030	インターネット接続を確立できません。	インターネット接続が見つかりません。プロキシ設定が正しいことを確認して再実行します。それでも解決しない場合は、ネットワーク管理者に連絡してください。
OFA0080	エラー<エラー番号> ライセンスセッションは期限切れです。ライセンスセッションを再開してください。	ライセンスアクティベーションソフトウェアは、これよりも後に別のブラウザウィンドウですでに使用されています。使用中のウィンドウを閉じてから、新規に開いて作業を続行します。
OFA00105	エラー<エラー番号> ライセンスアクティベーションソフトウェアモジュールが破損しているため、Fiery システムソフトウェアを再インストールする必要があります。	ライセンスアクティベーションソフトウェアモジュールが破損しているため、Fiery システムソフトウェアを再インストールする必要があります。テクニカルサポートに連絡して、メッセージに表示されたエラーコードを提示してください。
OFA0070	エラー<エラー番号> ライセンスアクティベーションソフトウェアモジュールが破損しています。Command WorkStation を再インストールして再実行してください。	Command WorkStation を再インストールして再実行してください。  Windows では、 <b>コントロールパネル&gt;プログラムの追加と削除</b> を選択し、Fiery ユーザーソフトウェアをメンテナンスモードで起動します。修復オプションを選択し、Command WorkStation を選択します。  Mac OS では、Fiery Software Uninstaller を使用して Command WorkStation をアンインストールし、再度 Command WorkStation をインストールします。

メッセージ ID	エラーメッセージ	アクション
OFA0050	要求されたオプションをアクティベート解除できません。詳細情報を確認するにはサポートに連絡してください。	Fiery オプションを復元し、アクティベート解除を再試行してください。それでも解決しない場合は、テクニカルサポートに連絡してください。
OFA0040	要求されたオプションを再アクティベートできません。詳細情報を確認するにはサポートに連絡してください。	Fiery オプションを復元し、アクティベートを再試行してください。それでも解決しない場合は、テクニカルサポートに連絡してください。
OFA00115	復元可能なオプションはありません。	このコンピューターではアクティベート済みのライセンスが見つかりません。すでにアクティベートされたライセンスがある場合は、テクニカルサポートに連絡してください。
Fiery ライセンスサーバーから :		
EBIS0004	LAC が認識されません。正しい LAC を入力していることを確認してください。LAC カードがある場合、それを参照してください。	LAC が認識されません。正しい LAC を入力していることを確認してください。LAC カードがある場合、それを参照してください。
EBIS0007	このオプションはすでにアクティベートされています。	LAC がアクティベートするオプションに適切であることを確認してください。
EBIS0016	このライセンスはすでに別のコンピューター用にアクティベートされています。	このライセンスはすでに別のコンピューター用にアクティベートされています。  別のコンピューターで使用しているライセンスをアクティベート解除すれば、現在使用しているコンピューターでアクティベートできます。
EBIS0018	最初にアップロードする要求ファイルを選択する必要があります。	送信された要求ファイルが正しくないか、要求ファイルが破損しています。別の要求ファイルを送信してください。再度エラーが発生した場合は、要求ファイルを再生成してください。
EBIS0025	ライセンスをアクティベートできません : エラーコード <番号>	Fiery ライセンスサーバーでエラーが発生しました。テクニカルサポートに連絡して、メッセージに表示されたエラーコード、LAC、使用している Fiery サーバーのシリアル番号を伝えてください。
EBIS0002	Fiery ライセンスサービスは使用できません。後で再試行してください。	Fiery ライセンスサービスは使用できません。後で再試行してください。

メッセージ ID	エラーメッセージ	アクション
EBIS0006	<p>ライセンスアクティベーションコード (LAC) をアクティベートできません。</p> <p>LAC でアクティベートした機能が使用している製品に適切であることを確認してください。</p>	LAC でアクティベートした機能が使用している Fiery サーバーモデルに適切であることを確認してください。
EBIS0011	<p>使用しているシステムはこのオプションに含まれている一部の機能をサポートしていません。続行しますか?</p>	<p>LAC によって複数の機能がアクティベートされましたが、リストに表示された 1 つまたはそれ以上の機能はサポートされていません。サポートされている機能のみに有効な LAC を新規に取得してください。</p> <p>このまま続行すると、サポートされていない機能が使用できなくなり、LAC も使用できなくなります。</p>
EBIS0008	<p>このオプションの中には、すでにアクティベートされている機能があります。続行しますか?</p>	<p>LAC によって複数の機能がアクティベートされましたが、リストに表示された 1 つまたはそれ以上の機能はすでにアクティベート済みです。まだアクティベートされていない機能がある LAC を新規に取得してください。</p> <p>このまま続行すると、同一の機能に 2 回課金されます。</p>
EBIS0026	<p>ライセンスをアクティベート解除できません : エラーコード&lt;番号&gt;</p>	<p>Fiery オプションを復元し、アクティベート解除を再試行してください。まだエラーが発生する場合は、テクニカルサポートに連絡して、メッセージに表示されたエラーコードを伝えてください。</p>
EBIS0024	<p>ライセンスを再アクティベートできません : エラーコード&lt;番号&gt;</p>	<p>Fiery オプションを復元し、アクティベートを再試行してください。まだエラーが発生する場合は、テクニカルサポートに連絡して、メッセージに表示されたエラーコードを伝えてください。</p>
EBIS0027	<p>このコンピューターで過去にアクティベートされたライセンスはないため、ライセンスを復元できません。</p>	<p>このコンピューターで過去にアクティベートされたライセンスはないため、ライセンスを復元できません。</p>